

日付と作者名

2005年7月5日 大友徳也

## レジュメの題名

岩田昭男『電子マネー戦争 Suica 一人勝ちの秘密』中経出版、2005年

## ● Suica と Edy の利用者数

- Suica : 2004年10月26日に1000万枚突破
- Edy<sup>1</sup> : 2005年5月18日に1000万枚突破

数字は半角

## 箇条書きと体言止め

## ● スイカ成功の秘密

1) 非接触型IC<sup>2</sup>カードと交通システムの相性の良さ

- 非接触型ICカード→処理速度が速い、セキュリティ面で先行
- 処理速度のアップを求める鉄道事業者と、スムーズに改札を抜けることを求める利用者のニーズが合致

## 2) JR 東日本の慎重な姿勢

- もともとひとつのミスも許されない鉄道事業者ならではの慎重さ

## 3) 「自前主義」

- JR 東日本の総合力の高さ：各部門それぞれが高い能力を持つ

## 4) 経営陣

- 経費を惜しまず、企業の業態を変えてしまうかもしれない流れに身を任せる経営陣

## 5) 穏やかな進化

切符→オレンジカード→イオカード→スイカ IC カード→ビュー・スイカ

~~~~ 途中略 ~~~~

## ● 将来展望

## ◎ 「マス戦略」から「パーソナル戦略」へ

- マス戦略—不特定多数の人に均一のサービスを提供
- パーソナル戦略—個別の顧客ニーズに対応。第二の創業には必要不可欠

## ◎ スイカー人勝ちへ

- ビュー・スイカ：クレジットカード、交通系カードとしての価値を兼ね備える

クレジットカードとして巨大なカード会社のカードとも競合できる。むしろ鉄道で移動する際も利用できるのも、一人勝ちできるポテンシャルを持つ。その結果、スイカをはじめとした電子マネーがカードの主役となる。

## 意見／コメント

英字は半角

## まとめ

著者の意見はJRに協力してもらった手前、JRびいきのようだ。しかし、スイカで買い物ができる店の数、その種類が増えてきていること、スイカを搭載した携帯電話がすでに実験され、実用段階に入っていること、最近ではパソコンにもスイカが搭載され始めたことなどを踏まえて、著者の考える事態が十分起こりえると思った。また、ICカードはセキュリティ面でも優れているため、スキミング犯罪に対抗する手段の一つとなりうると思う。

<sup>1</sup> ビットワレット（株）が2001年から運用を開始したプリペイド型電子マネー。

<sup>2</sup> IC integrated circuit の略で集積回路のこと